

2023 年度の活動報告

コンソーシアム活動の高齢者支援事業への生成 AI の導入試行報告

実践女子大学短期大学部 三田 薫

山野美容芸術短期大学准 及川 麻衣子

2023 年度は、過去 3 年間の経験、実績を踏まえて、高齢者の感想をいただくという活動から、互いを深く知る機会を作っていくとともに、生成系 AI やアプリも積極的に活用して、学生が体験する中で慣れていくことも考え、一つは学生と高齢者によるカルタプロジェクト（カルタの制作とカルタ大会）、もう一つはショートストーリーの制作と発表会という新しい取り組みを行った。カルタプロジェクトの実施にあたり、学生の負担を大幅に軽減しながら学生と高齢者の交流が一方通行ではなく双方の学びあい、相互支援となることを目指した。また各教育機関の関わり方を見直した。具体的には、実践女子大学短期大学部は正課授業を中心に活動を行い、山野美容芸術短期大学は課外活動で協力するという体制にした。さらに活動の負担を軽減する手段として生成 AI の積極的な導入を試みた。

カルタの制作は、フレイル予防や健康寿命の延伸に寄与できるよう、健康、美容、食生活の読み札の製作を高齢者の 2 団体にも依頼し、2 短期大学、1 大学、2 高齢者団体で製作した。その際に学生が ChatGPT の使い方を説明する機会を高齢者に向けて設け、高齢者にも体験していただき、その上で絵札の製作を無料アプリで学生が行った。

生成 AI や各種アプリの活用は、学生の負担軽減に有効であるとともに、他校の学生とオンデマンド動画等で情報共有することで、学生自身の情報リテラシーの向上が期待される。カルタプロジェクトでは、健康や美容など世代による異なる問題や興味について理解を深めることができた。また、ショートストーリープロジェクトでは、互いの世代の人生について思いを馳せ、相互理解する機会となるなど、生成 AI や各種アプリの活用は、学生と高齢者の「協働作業」が実現し、相互理解、相互支援の機会とすることができた。

1. カルタを取り入れた背景

2023 年度の活動にカルタを取り入れたきっかけは、日本福祉大学が制作した認知症カルタであった。このカルタは、認知症に優しい地域づくりを考え、「遊び」を通じて将来、自分の身近な人が認知症になった時に優しい対応ができるようになってほしい、という願いを込め制作されたカルタである。このカルタをモデルとしながら、高齢者のフレイル予防や健康寿命延伸を目的としたカルタを目指し、カルタのテーマを「健康、美容、食生活」とすることとした。

カルタ作りには実践女子大学生生活科学部食生活科学科も含めた 3 つの教育機関が参加した。実践女子大学、実践女子短期大学部英語コミュニケーション学科の学生は「健康、食生活」に関する知識を基に、また山野美容芸術短期大学の学生は日常の整容、美容の知識を基にカルタを制作した。

高齢者の団体としては、これまで交流を続けてきた 2 つの異世代者団体（Baba lab、地域デビュー楽しみ隊）の協力を受けることとなった。こうして 3 つの教育機関と 2 つの異世代者団体が共同でカルタを制作することとなった。

参加者の負担を減らすという点では、カルタの読み札制作は、学生も異世代者も分担して制作することが可能である。また読み札の句や絵札のイラスト制作では生成 AI を活用することにより学生の負担軽減につながると考えた。

学生と高齢者の学びあいを促進するという点では、それぞれが制作した読み札を通して学生と高齢者が互いの感性や日常的に抱えている課題を知る機会となることを目指し、またカルタが完成した際に対面でカルタ大会を実施することにより、交流が深まると考えた。

2023 年度前期は 5 月に読み札募集、6 月に絵札のイラスト制作、7 月 20 日にカルタ大会という流れで「カルタプロジェクト」を実施した。

2. 活動内容

実践女子大学短期大学部の活動

実践女子大学短期大学部では、英語コミュニケーション学科の三田ゼミクラスの学生が中心となって活動を行った。まず生成 AI に慣れるための練習を行った。カルタの読み札制作では ChatGPT に質問して読み札の候補を出させる作業を体験させた。必ずしも思い通りの読み札が出力されない中、学生は何度かのトライアルで納得のいく読み札を見つけるプロセスを体験した。著作権への配慮に関しては、ChatGPT の出力した読み札についてインターネット上で同じ読み札がないかをチェックさせた。絵札制作ではグラフィックデザインツール Canva で画像を制作する練習を行った。Canva で制作した絵札は、商用利用も可能なものとなっている。学生たちはさらに、Zoom セッションを開催して高齢者に ChatGPT と Canva の使い方を説明した。同時にオンデマンドの ChatGPT と Canva の説明動画を作成して山野美容芸術短期大学の学生向けに配信した。

カルタの読み札と絵札が完成した暁にはカルタ大会を対面で実施した。前期の対面カルタ大会は2023年7月20日、実践女子大学渋谷キャンパスで開催し、実践女子大学短期大学部学生15名高齢者4名（地域デビュー楽しみ隊3名、baba lab 1名）で行った。また終了後に夏休みに楽しみたい事、頑張りたい事について話し合う機会を設けた（写真：カルタ大会とその後の話し合いの様子）。



山野美容芸術短期大学の活動

カルタの読み札制作は、各校で50音の中から分担した。本学学生は健康・美容をテーマに5・7・5のリズムを大切に考え制作した。その際、高齢者が内容を理解しやすいよう、難しい言葉や分かりにくい表現は使わずに、絵札のイラストを使用して内容を可視化するなど工夫した。

また、カルタ制作には、ChatGPTやCanvaなどICTを活用することを試みた。基本になる用語と出来上がり文字数などを設定し生成した読み句の意味を点検した。

各団体のカルタ作品

以下、a,bはbaba labの作品、c,dは地域デビュー楽しみ隊の作品である。e,fは実践女子大学短期大学部、g,hは実践女子大学生生活科学部食生活化学科、i,jは山野美容芸術短期大学の学生作品である。異世代グループの作品は、その世代ならではの実感が伝わる作品となっている。学生の作品にはそれぞれの専門や興味が反映されている。

- a. 痛みなく 検査結果で 病あり
- b. うた歌い 口の体操 誤嚥なし
- c. 茶のカテキン 血糖値下げるって ほんまかいな
- d. ぬかどこに 美味しくなーれの おまじない
- e. ヘル酢ケア 和風サラダで 野菜摂取
- f. るるるんで 沢山運動 頑張ろう
- g. モロヘイヤ カルシウム多く 骨に良い
- h. 焼きいもで エネルギー補給 おやつにしよう
- i. フェイシャルマッサージ 血行良くする むくみとる
- j. ほうれい線 表情筋トレ マッサージ

絵札絵札は3つの教育機関の学生が分担して、Canvaを用いて制作した。



生成AIを用いたカルタ制作についての学生の感想

- ・ キーワードを入れるだけで読み札を作ってくれるので想像していないものができて面白い。
- ・ 自分では思いつかないようなこともどんどんアイデアを出してくれるので、よかった。
- ・ 異世代の方が考えてくれたかるたや自分達で作ったかるたがどんどんカードという形になって、実際にかるた大会も開催できたことはとても嬉しかった。
- ・ 一緒に何を作り上げる楽しさに気づけた。カルタ大会当日もとっても楽しめた。

「カルタプロジェクト」に参加した高齢者の感想：

- ・ ChatGPTやCanvaの使い方がよく分かりました。一生懸命に学生さんが教えてくれて大変有意義な時間でした。説明も上手でした。AIが考えるもの、人の手が入るものの区別が
- ・ カルタ大会は、試合ということもあって盛り上がり、一所懸命取り組むことが出来て、大変楽しく参加できました。
- ・ カルタの完成度が高いなと思います。こうしたことができるのであれば、応用としていろいろできるのだろうと感じます。

- ・もし1セットいただけましたら、地元の団体で活用いたしたいと思います。
- ・シニアは、何かと、自分を発信し、居場所を探しています。この場が、新しい発見の場となり、何かを伝えたいし、自分の役割・出番を求めています。こういう機会いただいたことは、今回の参加全員が、感謝しております。

まとめと今後の展望

短大生が多忙のために長時間の課外活動への参加が困難になる中、核となる正規授業と複数の教育機関の課外活動の組み合わせにより、学生が無理なく活動に参加できる体制を整えることができた。

今回の活動に ChatGPT や Canva といった生成 AI を導入したことで、学生の作業時間が大幅に短縮され、学生があまり負担を感じずに活動に参加することが可能となった。また1つの教育機関の学生が作成した説明動画を他校の学生がオンデマンドで視聴できる体制にすることで、学生が自由な時間に視聴して生成 AI の使い方を学ぶ機会を提供できることとなった。さらに学生が ChatGPT や Canva に慣れ、その使い方について情報共有することで、学生自身の新時代の技術に対するリテラシーが向上していくことが期待される。

カルタの読み札は「健康、美容、食生活」をテーマに3つの教育機関と2つの異世代団体が分担して制作した。出来上がった作品に触れることは、世代による興味や課題の違いを如実に映すものとなっており、互いの理解を深める機会となった。「美容」や「健康」に着目したカルタ制作については、「美容」を高年齢者支援にどのように活用できるかについて学生同士で話し合い、「美容」「健康な身体づくり」について考える機会ともなっている。

カルタ制作は、学生と高齢者が一方通行ではなく相互に貢献する有意義な場となった。何よりも生成 AI や各種アプリを活用することで、学生と高齢者の「協働作業」が実現し、相互理解、相互支援の機会が実現したことは、主催者として大きな成果であると感じている。